

ピース・ウイング長崎 会報

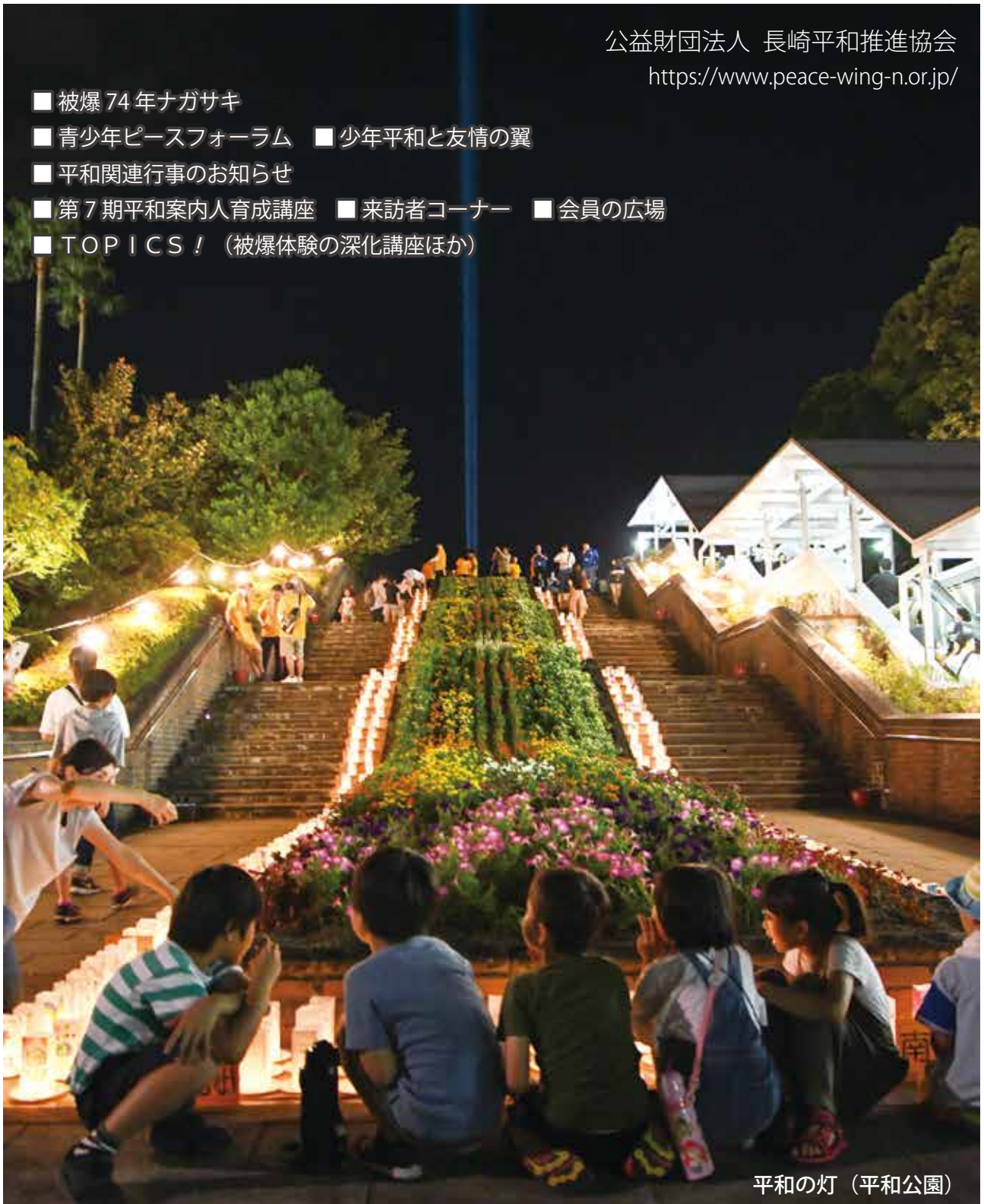
へんりゃ

163号

公益財団法人 長崎平和推進協会

<https://www.peace-wing-n.or.jp/>

- 被爆 74 年ナガサキ
- 青少年ピースフォーラム ■ 少年平和と友情の翼
- 平和関連行事のお知らせ
- 第 7 期平和案内人育成講座 ■ 来訪者コーナー ■ 会員の広場
- TOPICS! (被爆体験の深化講座ほか)



平和の灯 (平和公園)



被爆 74 年ナガサキ

被爆 74 周年を迎えた夏、長崎には全国からたくさんの方々が追悼に訪れました

長崎平和宣言で引用された被爆者の詩

幾千の人の手足がふきとび
腸わたが流れ出て
人の体にうじ虫がわいた
息ある者は肉親をさがしもとめて
死がいを見つけ そして焼いた
人間を焼く煙が立ちのぼり
罪なき人の血が流れて浦上川を赤くそめた
ケロイドだけを残してやつと戦争が終わった
だけど……
父も母も もういない
兄も妹ももどつてはこない
人は忘れやすく弱いものだから
あやまちをくり返す
だけど……
このことだけは忘れてはならない
このことだけはくり返してはならない
どんなことがあつても……

長崎平和宣言は、長崎市のホームページからご覧いただけます
<https://nagasakipeace.jp/japanese/peace/appeal.html>

長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

8月9日、平和公園で被爆74周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が執り行われました。被爆者や遺族、安倍首相ら政府関係者、世界66か国の代表を含む約5,900人が参列し、原爆犠牲者を慰霊しました。

田上市長は、長崎平和宣言で被爆者の詩を引用して被爆の惨状と被爆者の切なる想いを伝え、日本国政府に対し「唯一の戦争被爆国の責任として、一刻も早く核兵器禁止条約に署名、批准をしてください」と求めました。

また、被爆者代表の山脇佳朗さん（継承部会員）は、「平和への誓い」で自らの被爆体験や核兵器廃絶への思いを述べ、最後は英語で「この世界から核兵器を廃絶し、長崎を最後の被爆地とするために皆さんの力を貸してください」と訴えました。



祈念式典会場でおしほりを配る
ピースボランティア



「平和への誓い」で核兵器廃絶を訴えた
継承部会員・山脇佳朗さん



祈念式典で合唱する城山小学校の児童たち

映画「サクラ花」・特別限定高座 出征祝（国策落語）



7月17日、協会設立記念事業「戦争と演芸」を原爆資料館ホールで開催しました。

今回は、第二次世界大戦末期に日本軍が生み出した小型特攻機「桜花」をテーマとした映画「サクラ花」の上映、林家三平さんによる国策落語「出征祝」上演、映画監督と出演者によるトークショーの3部構成で行いました。

国策落語は、戦時中、国民の戦意高揚を目的に作られました。「出征祝」は7代目林家正蔵さんが話していたもので、孫にあたる三平さんが約70年ぶりに復活させ、「サクラ花」上映に合わせて口演しています。店の若旦那に召集令状が来たことを皆で喜び、最後は「酒を二本買った日本勝った」の掛け言葉で終わる話で、口演後「こんな話しかできない時代でした」と話されました。

第3部のトークショーには松村克弥監督、映画に出演した林家三平さんと城之内正明さんが登壇し、映画の撮影裏話などを話されました。3人は講演会前に周辺の被爆遺構や原爆資料館を見学されており「平和祈念像を見て、未来に向かって頑張ろうと思った」との感想もありました。最後は「国が戦争への道に進んでいき、戦地に兵士を送るために商家も利用された事実を伝えたかった」「これから様々な表現で戦争を伝えていかなければならない」との思いを述べて締めくくられ、約300人の来場者が拍手を送りました。



写真展「写真で見る被爆体験記」

7月29日から8月19日まで、追悼平和祈念館の交流ラウンジにて、写真資料調査部会主催による写真展「写真で見る被爆体験記」を開催しました。

今回の写真展は、追悼平和祈念館に寄せられた被爆体験記と当時の被災写真を同時に展示することにより、その被爆者が見たであろう光景を想像し、その体験をより身近に感じてもらおうと企画されました。会場には被爆者10人の手記とそれに関連する約50枚の被災写真が展示されました。被爆体験継承を目指す上で、一つのスタイルとなればと考えています。



アジア青年平和交流事業 発表審査会

9月7日、追悼平和祈念館交流ラウンジで「アジア青年平和交流事業の発表・審査会」を行いました。この事業は、「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」をテーマに、長崎の若者による企画を募集し、その企画の実施を協会が支援するものです。

今年は2チームが若者らしい発想のプレゼンテーションを行い、審査の結果、2チームを認定することが決定し、審査員からの助言が与えられました。これから事業を行っていたり、3月には成果発表会を行っていただきます。



長崎純心大学
Green Pieces



長崎県立大学シーボルト校
金村ゼミ

平和へのおもい

な世界の実現のために自分に何ができるのかを考えました



全国から約 500 人が長崎に集まり、平和学習を行う



青少年ピースフォーラム

全国の青少年が長崎で被爆の実相や平和の尊さを学習する「青少年ピースフォーラム」を、8月8日・9日の2日間で開催しました。今年度は長崎市を含む全国35自治体から約500人が集まり、地元長崎の青少年と交流を行いました。

このフォーラムでは、2つのコースに分かれて学習します。1日目のAコースは、平和会館ホールで原爆についての基礎的な知識を学び、原爆資料館周辺でフィールドワークを実施しました。

Bコースは、平和公園・浦上天堂・山王神社の各ルートに分かれ、被爆建造物等を巡りました。2日目は両コースとも、長崎の原爆から更に視野を広げた意見交換会を行い、ピースアートを作成しながら交流を深めました。

実施内容の企画や当日の進行役、被爆遺構などのガイドは、青少年ピースボランティアが中心となり、運営を担いました。

被爆体験講話聴講(築城昭平氏)

[Aコース]

- ・原爆資料館周辺フィールドワーク
- ・被爆の実相学習
- ・紙芝居(原爆)
- ・平和2択クイズ

[Bコース]

- ・被爆建造物等フィールドワーク(平和公園コース)
- ・浦上天堂コース(山王神社コース)

原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

意見交換会・ピースアート制作



企画・運営を行った
ピースボランティア★
近藤拓人さん



今年のピースフォーラムは、沢山の困難もあったが、多くの方々の御支援により、無事成功を収めることが出来たと思う。今回一番苦労した事は、例年に比べて変更点が多く、対応に苦労したことだ。有難いことに、皆様からの笑顔やお礼の言葉を頂戴することができ、達成感を得ることができたが、反省点も多かったため、改善していきたい。

私は戦争がなく安心して暮らせることが、平和な世界だと考える。その目標のために今の自分に出来ることは、多くの人に戦争の悲惨さを伝えることだという結論に至った。伝えるには、色々な人の立場、意見を知ること必要だ。多くの人に平和の大切さをわかってもらえるよう、これらの力を培い、フォーラムで戦争について伝えていきたい。

平和学習 発表会が 行われました

8月22日、長崎市の主催で、中学生が平和学習の取り組みを発表する「平和学習発表会」が開催されました。会場の平和会館には、市内の市立中学校の生徒代表及び「少年平和と友情の翼」参加者約120人が集まりました。

この発表会は、平成18年から開催されていますが、今年初の試みで、参加者全員が班に分かれて、各学校の取り組みを自作の発表資料を使って発表し、感想を共有する意見交換をしました。

初めて会うメンバーの発表や意見交換がスムーズに進むように、青少年ピースボランティアと長崎純心大学「Green Pieces(グリーン・ピースーズ)」が司会・進行役として活躍しました。

後半は、今年8月16日(18日)に沖縄県を訪問し、沖縄戦について学んだ「少年平和と友情の翼」の参加者が、研修での体験や学習したこと、訪問地



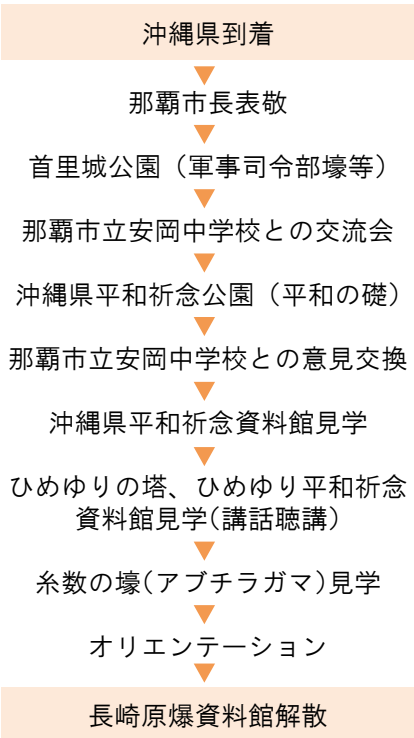
中学生が長崎原爆を伝え、沖縄戦を知る

少年平和と友情の翼

長崎市内の中学生30人を沖縄県に派遣する「少年平和と友情の翼」を8月16日～18日に実施しました。

この事業は、今年度から当協会が長崎市から受託したもので、長崎の中学生に沖縄戦や沖縄の歴史を学んでもらい、長崎原爆を沖縄の中学生に伝えること、また、友情・連携を深め、集団行動ができるようになるという目的で行いました。台風が心配されましたが、予定通りの行程で、研修を終了することができました。

事前研修では、長崎原爆や沖縄戦について学び、沖縄の中学生との意見交換の準備を行いました。沖縄では、沖縄戦で使われていた壕や戦跡の見学、ひめゆり学徒隊についての講話を聴きました。また、那覇市立安岡中学校の生徒30人と平和についての意見交換も行いました。沖縄の中学生との交流や現地での沖縄戦についての学びは、平和の尊さを感じる貴重な体験となったようです。



参加者★長崎大学教育学部附属中学校2年 濱田尚平さんの感想

研修で僕の心に最も強く残ったのは、ひめゆり学徒隊です。学徒隊の一員だった宮城さんは、解散命令が出た時、動けなくなった友人を置いて壕から出たそうです。ここで友人と別れたら二度と会えないかもしれない、と思いながら壕を出る苦しさや悲しさは計り知れません。また、「事実を知らないことが一番怖い」ともおっしゃいました。

ずっと「アメリカ軍は鬼だ」と教えられてきた宮城さんは、アメリカ軍が負傷者を看護するのを見て「鬼なんかじゃない、人間なんだ」と気づいたといいます。僕は何事もまずは真実を知ろうとする姿勢が大切だと思いました。平和な世界の実現のために僕ができることは何なのか、それを自分に問いかけ、深く考えさせられた研修でした。（一部抜粋）



について発表しました。その中には、那覇市の中学生との交流会の様子や資料館見学の様子などがあり、「この平和な世の中を続けていくため、戦争について学び、伝えていくことが大事だと思つた」などの感想が述べられました。また、青少年ピースボランティアとグリーン・ピースは年間の活動を報告しました。様々な発表で各学校の取り組みを知り、今後自分たちが行う平和の取り組みを展示させる学びの時間となりました。

戦時食
体験

原爆写真
展示

ミニ
コンサート

折り鶴
体験

エコ風船
メッセージ

綿菓子
ポップ
コーン

※雨天時も実施します

国連軍縮週間 「市民のつどい」



日時 10月26日(土)10:00~13:00

場所 長崎原爆資料館前 階段下広場

当協会では、10月24日~30日の国連軍縮週間に開催される市民大行進に合わせて、毎年「市民のつどい」を開催しています。今年も、戦時食の体験や原爆写真の展示、また平和へのメッセージを記入できるエコ風船コーナー、ミニコンサートなど、子どもから大人まで楽しめるイベントを行います。この機会に、改めて平和の大切さを感じてみませんか。

お問合せ 長崎平和推進協会 ☎ 095-844-9922

被爆体験朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ永遠の会」 定期朗読会「忘れられないあの日」



日時 10月20日(日)14:00~15:00

場所 追悼平和祈念館 交流ラウンジ

追悼平和祈念館の朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ永遠の会」は、毎年3回定期朗読会を開催しています。今回の朗読会では、約半年間の育成研修を終え今年4月から活動を開始した2期生の皆さんと一緒に、被爆55年後に被爆者が描いた詩画集「忘れられないあの日」から詩を7編と体験記を5編朗読します。皆さまの来場をお待ちしています。



お問合せ 追悼平和祈念館 ☎ 095-814-0055

CINEMA × MUSIC × STORY

NAGASAKI Love & Peace Message 2019



日時 12月15日(日)10:00~17:00

場所 追悼平和祈念館 交流ラウンジ

昨年度まで実施していた「長崎国際平和映画フォーラム」の内容を見直し、特に若い世代への被爆体験の継承を目的とした、イベントも装いも新たに開催します。映画のほか、長崎で活躍している方々による朗読劇、映画音楽・クリスマスソングを歌やピアノ、ギターで演奏します。世代を超えて楽しむことができます。皆さまのお越しをお待ちしています！



メッセージ
ツリー

お問合せ 追悼平和祈念館 ☎ 095-814-0055

日本語版「ナガサキ 核戦争後の人生」刊行記念 スーザン・サザード氏 特別市民セミナー



日時 11月10日(土)13:30~16:30

場所 長崎原爆資料館 ホール

平成27年に米国で出版され、大きな反響を巻き起こした被爆史「ナガサキ 核戦争後の人生」(スーザン・サザード著)の日本語版が今年7月に刊行されました。この本は、ディトン平和文学賞(平成28年)等を受賞し、高い評価を得ています。日本語版刊行を記念し、著者でノンフィクション作家のスーザン・サザード氏をお招きして「特別市民セミナー」を開催します。サザード氏の基調講演の他、芥川賞作家の青来有一氏、詩人で絵本作家のアーサー・ビナード氏との3人によるトークセッションも行われます。



お問合せ PCU-NC ☎ 095-819-2252

あなたも平和への思いを伝えませんか

第7期

平和案内人育成講座 受講者募集!

来訪者コーナー



ボランティア研修生
五井野さん・杉本さん

国際基督教大学生の五井野友香さん、杉本詩織さんが7月～8月の約1カ月間、長崎市に滞在して当協会では原爆・平和の研修を受講しました。この研修は、大学の教育プログラム「サービスマーケティング」の一環として行われ、当協会は初めて実習生を受け入れました。

2人は原爆・平和について学び、原爆資料館インフォメーションや中学校での平和学習、当協会のイベント補助などに取り組みました。また、青少年ピースボランティアに加入して「青少年ピースフォーラム」に参加したり、折り鶴の整理や平和の灯のキャンドルの製作も行いました。長崎市の文化施設も見学して長崎の歴史・文化についても学習するなど多方面から学び、ボランティア活動を行いました。

原爆投下から74年が経過し、被爆者の平均年齢も82歳を超えました。この度、被爆者の思いを継承し、原爆資料館や被爆建造物等を案内すること、被爆の実相と平和の尊さを伝えるボランティアを募集します。今回の育成講座では、被爆体験講話を通して被爆者の心の痛みを感じ取り、現代の核兵器問題、原爆の構造や当時の状況などを専門家から学ぶほか、実際案内する場所をめぐり、ガイドに必要な知識や技術を習得します。希望される方は、協会の発行のチラシや協会ホームページをご覧いただき、申込用紙をお送りください。

Q. 誰でも平和案内人になれますか？

A. 満18歳以上（高校生は除く）の方ならどなたでも応募できます。ただし、育成講座に12回以上出席し、講座を修了していただくことが条件となります。

Q. どこで活動しますか？

A. 原爆資料館や追悼平和祈念館、被爆建造物等を案内していただきます。

Q. 平和案内人の活動はいつからはじまる？

A. 育成講座修了後、2ヶ月の実施研修を経て、令和2年5月から活動を開始いたします。



期 間：11月23日(祝)～令和2年3月10日(火)の火曜日・土曜日
時 間：〔火曜日〕18:30～20:00〔土曜日・祝日〕13:30～16:30(原則)
回 数：全15回 ★12回以上出席した方のみ登録できます。
場 所：原爆資料館 平和学習室ほか
応募資格：満18歳以上（高校生は除く）
令和2年5月からの平和案内人活動に参加できる方
締め切り：10月31日(木) 当日消印有効

問合せ先

長崎平和推進協会（長崎市平野町7-8）<https://www.peace-wing-n.or.jp/>
TEL 095-844-9922 FAX 095-844-9961

No. 10



お便りをお寄せください!

平和推進協会では、会員の皆様よりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆様の声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。投稿は300字以内でお願いします。また、匿名の投稿はご遠慮ください。

E-mail : info@peace-wing-n.or.jp
〒852-8117 長崎市平野町7-8
長崎平和推進協会「会員の広場」係



Peace Wing Nagasaki 会員の広場

戦時中の「食べ物にまつわる話」をテーマに被爆者の方々からお話を聞く機会がありました。その当時、食糧は統制配給制のもと一人あたりの配分を制限され、配給自体も遅配や欠配が続いて満足がいく食事をとれない時代だったそうです。私の実家でも畑作物を栽培して不足した食糧の足しにしていたと聞いています。

毎年10月末に開催される「市民のつどい」では当時の食べ物を試食するコーナーがあります。現在は食料も質がよくなり、野草など当時は身近にあった食材を調達するのも難しくなっているため、当時の食糧事情を完璧に再現できない状況にあるようですが、戦争当時を体験する取り組みのひとつとして戦時食づくりの活動は続けることに意義があると思います。

廣佐古 俊之

被爆体験の深化講座開始!



継承部会の継承交流班では、被爆者による自らの被爆体験のスキルアップを図るとともに、多くの人に被爆体験を知っていただくため、被爆者による「被爆体験の深化講座」を始めました。第1回は「食べ物にまつわる話」として、5人の被爆者が被爆前後の体験を話しました。深堀譲治さんは「8月9日に母が炊いてくれた真っ白いご飯を、焼け跡の釜の中に見つけた」と話し、併せて会場の継承部会員からも色々な体験を聞くことができました。会場には約50人が集まりました。

ピースネットで被爆体験講話と初めて朗読を行いました

7月22日、インターネット会議システムで相模女子大学と祈念館をつなぎ、清野定廣さんの講話を実施しました。はじめての取り組みとして、朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ永遠の会」の白鳥純子さんが、清野さんのお姉さんが遺した原爆投下から8月17日までの日記を朗読しました。学生からは「今日聞いたお話を次世代に語り継げるように、日々を大切に生きていこうと思います」などの感想が寄せられました。



長崎原爆資料館図録「ながさき原爆の記録」リニューアル



原爆資料館の展示内容を紹介する図録を23年ぶりにリニューアルしました。写真を増やし、説明文も分かりやすくなりました。英訳も併記されていますので、海外の方にもおすすめです。

864円(会員価格:778円)

【問合せ】長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

長崎原爆資料館等の指定管理者制度に伴う協会会員特典の継続について

今年9月1日から長崎原爆資料館等に指定管理者制度が導入されました。指定管理者(長崎平和施設管理グループ)に了解いただき、当協会会員の方は、9月以降も原爆資料館内のミュージアムショップでは協会製作商品10%引きと喫茶室「ピースカフェ」では5%引きの会員価格を引き続きご利用できます。

【問合せ】長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

世界の核弾頭の数(2019年6月1日現在)

ロシア	米 国	フランス	中 国	英 国	イスラエル	パキスタン	インド	北朝鮮	合 計
~6,500	~6,185	300	290	215	80	~150	130	20~30	~13,880

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供 <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

会員数報告

- ◎維持会員 1076人
- ◎賛助会員 153人
- ◎学生会員 10人

(令和元年9月24日現在)

賛助会員(団体・法人)の一覧は協会ホームページに掲載しています。ご支援・ご協力誠にありがとうございます。

寄付者紹介

ありがとうございます

- ◎北城 祐二 (敬称略) 一万八千円
- ◎木下 セツ 一万円
- ◎松尾 蘭子 一万円
- ◎土井 美智子 一万円
- ◎白鳥 純子 三千円
- ◎匿名 六名 四万八一七円

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。

今年度また会費を納めていただけない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入ください。ようお願いします。

お支払いただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。どうか、事務局までご連絡ください。

